

めざそう、持続可能な未来を  
かわごえ誠一オフィシャルサイト  
www.kawagoeseiichi.com

# 葛飾区議会レポート



## 葛飾区議会議員 かわごえ誠一

### かわごえ誠一 プロフィール

- 1963年3月川崎市生れ ●立石在住37年 ●防災士
- 学童保育、PTA、子育てネットワーク、図書館友の会、三番瀬保全活動等に参加 ●都議秘書を経て2013年区議初当選 ●2021年三期目当選 ●かつしか区民連合副幹事長 ●立憲民主党 ●区議会所属：議会運営委員会・保健福祉委員会・危機管理対策特別委員会

## ◆令和7年区議会第一回定例会報告◆

◆今年の11月に区議会議員の四年間の任期の満了を迎えます。◆残すところ半年余りの任期となりましたが、引き続き地域課題の解決をはじめ、さらなる防災力の向上、SDGs 実現などに取り組んでまいります。

■令和6年第六次一般会計補正予算 61億6,176万円成立 ◆今定例会冒頭に令和6年度第六次補正予算 61億6,176万円が上程されました。HPV ワクチン接種助成、成年後見センター事業への助成の他、各基金への積立などの補正予算が中間本会議で議決されました。

■令和7年度一般会計当初予算過去最大級 2,573億6,000万円成立 ◆今定例会では令和7年度当初予算案が上程され、過去最大規模となる一般会計 2,573億6千万円が成立しました。◆歳入面では納税義務者数や区民所得の増加などによる税収増が見込まれる一方、歳出面では物価高騰による事業費全体の増加や、扶助費の高水準での推移が見込まれており、最大規模とはいえ物価高騰や、多様化する行政需要への対応など厳しい見通しとされます。◆本予算案は予算審査特別委員会で審査された後、最終本会議で賛成多数で議決されました。

■公文書等管理条例など制定 ◆今定例会では条例3本、条例改正32本が制定された他、健康実現プランや、移動等円滑化促進方針など行政計画が報告されました。以下一部紹介します。

- ◆葛飾区公文書等管理条例：公文書の適正な管理や、歴史的公文書の保存・利用のための条例
- ◆葛飾区子ども・若者総合計画：子ども・子育て支援事業計画と子ども・若者計画を一体化した計画
- ◆かつしかアート・カルチャー基本方針：区の文化・芸術振興の取り組みを示すための基本方針

## ◆タウンミーティング「児童虐待について考える」開催◆

◆去る2月5日にタウンミーティング「児童虐待について考える」を開催しました。◆児童虐待などにより児童養護施設を経験した若者たちは社会に出てから家庭など頼る場所が無く、孤立しやすい状況があります。◆「虐待は保護されて終わりではない」と、当事者支援の活動をしている山本昌子さんの話を伺い、若者たちを社会で支える意味を改めて考える機会となりました。



タウンミーティング会場の様子

※公職選挙法により、議員からの区内有権者への会合などへの会費以外の金品の寄附行為などは禁止されています。

# タウンミーティング

# 2025

## 葛飾区議会議員 かわごえ誠一 学習会のお知らせ

主催：かつしか区民連合  
参加費無料 定員先着 70名

### テーマ：災害、その時に備え何ができるのか？

### ～能登半島地震の現場から見たこと・災害時の福祉的課題を考える～

と き：2025年 **5月19日** (月) 19:00～21:00 開場 18:45

ところ：かつしかシンフォニーヒルズ別館5階 レインボー 葛飾区立石 6-33-1

## ■「能登半島地震」の現場から

手話通訳あり

※事前に下記メールへご一報いただけますと幸いです。

### ◆発災直後の支援 ～大規模災害・被災地から求められたもの～

講師：弓削恵則氏 国際 NGO オペレーション・ブレスリング・ジャパン (OBJ) 国内災害人道支援ディレクター

### ◆心理的ケアの支援 ～災害時の心のケアの重要性～

講師：高橋恵子氏 国際 NGO オペレーション・ブレスリング・ジャパン (OBJ) 心の支援プロジェクトコーディネーター

## ■葛飾区の災害対応について ～主に配慮の必要な方々への支援などを中心に～

◆葛飾区の災害対策 福祉避難所の準備状況など 報告：葛飾区地域振興部 危機管理課

◆災害時要配慮者支援の取り組み状況 報告：葛飾区福祉部 災害要配慮者支援担当課

◆災害ボランティアセンターについて 報告：葛飾区社会福祉協議会

◎直接会場にお越し下さい。◎発熱や咳など体調のすぐれない方は参加を見合わせていただけますようお願いいたします。

◆能登半島地震から一年半が経とうとしています。◆能登半島地震では高齢者や障害者、乳幼児など災害時に弱い立場に置かれる方への支援の課題が表面化しました。◆今回は 2023 年のタウンミーティングにお招きした OBJ の弓削恵則さんを再度お招きし、能登半島地震の福祉施設などへの初動支援の状況を伺うとともに、臨床心理士の高橋恵子さんから災害時の心のケアについて伺います。◆さらに、葛飾区などから災害対策などの報告をいただき、災害に備え、今からできることを共に考えたいと思います。



講師：弓削恵則さんプロフィール  
国際 NGO 特定非営利活動法人オペレーション・ブレスリング・ジャパン / 国内災害人道支援ディレクター  
◆2011年東日本大震災で被災、能登半島地震支援など現在の支援活動にいたる。平時からの要配慮者への支援、有事に備える仕組みづくりをおこなう。防災士・食品衛生責任者



講師：高橋恵子さんプロフィール  
国際 NGO 特定非営利活動法人オペレーション・ブレスリング・ジャパン / 心の支援プロジェクトコーディネーター  
◆東日本大震災・能登半島地震で現地に入り支援活動を担った。平時からの地域住民への心理的ケア・福祉的ケアの教育普及に努めている。臨床心理士・精神保健福祉士

■ 連絡・問い合わせ先 ■ かわごえ誠一 090-2932-7315 《e-mail》 info@kawagoeseiichi.com

かわごえ誠一オフィシャルサイト <https://www.kawagoeseiichi.com> →





# 葛飾区議会議員 **かわごえ誠一** 葛飾区議会レポート

2025年5月3日 第112号

発行：かつしか区民連合



## 令和7年葛飾区議会第1回定例会 区政一般質問報告

◆2月27日の第1回定例会本会議でかわごえ誠一が一般質問に登壇しました。その一部要旨を掲載します。詳細は右QRコードから区議会HPをご覧ください。

### 1：環境行政とネイチャーポジティブについて

◆温暖化対策、生物多様性など環境政策全般を質問

**かわごえ** 2050年の温室効果ガス排出実質ゼロを実現するための通過地点として、カーボンハーフを目指すとする2030年まで残り5年となったが、達成への見通しについて伺う。

**区長** 「かつしかエコ助成金」の拡充、「葛飾区建築物再生可能エネルギー利用促進計画」の策定などを進めるとともに、区内最大規模の事業者である区が率先し、区有施設の太陽光発電設備の設置や、建築物のZEB化、再生可能エネルギー電力への切替えなどを進める。これらの取組を緩めることなく実施することで2030年のカーボンハーフを達成する。



一般質問に登壇するかわごえ

**かわごえ** 環境省の自然共生サイトへ水元小合溜の登録を目指すべき。

**環境部長** 東京都、埼玉県、三郷市、葛飾区生物多様性推進協議会などと共に課題整理し、水元小合溜の認定申請へ検討を進める。

**かわごえ** 水元公園の特定外来生物カミツキガメへの早急な対策を。

**環境部長** 早期に防除計画を策定し、公園全域での駆除を実施する。

**かわごえ** 4月からの製品プラスチック回収は、ゼロエミッションに向け、資源循環社会の実現は欠かせない。今後、容器リサイクルプラスチック収集と合わせ、回収率を上げる取組を進めることを求める。

**環境部長** 各種団体、区民説明会、ごみの収集カレンダー、広報かつしかなどで周知をする。他自治体に先駆け全てのプラスチックを燃やさずリサイクルを進めることで、資源循環型地域社会の構築を目指す。

**かわごえ** 緑のマスタープランの改定では、ハード面の街路樹や公園の都市緑化のみでなくネイチャーポジティブの考え方を取り入れるべき。

**都市整備部長** 策定委員会からも意見があり、近年の水と緑を取り巻く潮流としてもネイチャーポジティブの考え方を取り入れていく。

**かわごえ** 区施設で大きなウエートをしめる学校施設の省エネは重要だ。清和小と青葉中で行われている校舎の断熱改修実証について、早急に今後の断熱改修のスケジュールを明確にし予算化して進めるべき。

**施設部長** 断熱化には一定の効果があることが分かっており、学校で大規模な内装改修を行う際に経費や工期などを考慮しながら取り入れる。

【その他】全国みどり花のフェア・環境部の体制についてなど

により保護者向け文書の作成、文書の翻訳、多言語化も可能となる。その活用ルールやマニュアルを周知し、情報提供の多言語対応について、活用事例を紹介し、各学校へ積極的な取組を働きかける。

**かわごえ** 今後、外国人の課題は増加すると予想される。それらに対応するために文化国際課は文化振興と国際交流・多文化の組織は分け、支援体制を構築すべきと考えるがどうか。

**政策経営部長** 文化振興でも体制づくりが求められており、文化振興と国際交流、多文化共生をより一層推進できる組織について検討する。  
【その他】わかりやすい窓口・外国ルーツの子どもの発達の課題など

### 3：立石のまちづくりについて

◆立石地域全体のまちづくりの多岐に渡る課題や方向性などを確認

**かわごえ** 行政のまちづくりはハード整備の終了とともに切れることが課題だ。区としてコンサル任せではなく、シティープロモーションやコミュニティデザインを念頭に地域振興や産業振興、歴史文化、観光など全体を見直し調整する機能が求められる。今後エリアマネジメントや地域の活動が進められる中で区全体として検討していくべきだ。

**区長** ハード整備後も地域の魅力や賑わいを高め、持続可能なまちづくりが求められている。現在、駅周辺で進めているエリアマネジメントは地域特性、参加主体も様々であり、それぞれのまちの個性に合わせた方向性を検討している。今後、多様な活動へ広がる中、関連する様々な部署が連携し、全庁で検討していく必要があると考える。

**かわごえ** まちづくりは「わが事」として街を育てようという人を育てる「人育て」が欠かせない。立石地域で現在設立に向け検討が進められている「まちづくり協議会」はその基礎・ベースになることとして期待をするが、現状と今後の方向性を伺う。

**街づくり担当部長** 今後、地域の人々がまちづくりに主体的に取り組めるよう、専門コンサルタントによる準備会の運営や、協議会に参加する方々の調整など、様々な支援を行っていく。

**かわごえ** 地域の活性化をするために人のつながりを育む「コミュニティデザイン」が重要だ。今後、まちづくり協議会でも立石地域の活性化を図るため、身近で誰でも関われ、多様な活動ができる開かれた空間としての「道路」の活用を検討してはどうか。

**街づくり担当部長** 地域の活性化に向けた課題検討が進む中で、道路空間の活用についての検討もされていくと考える。今後は、道路など公共空間を活用した取組が円滑に進められるよう、関係機関との協議など支援を行うとともに、地域と連携・協働した取組を進めていく。

**かわごえ** 立石駅の北口のみでなく南口の再開発も見えはじめた。駅前が変わりゆく今、記憶を次の世代に伝えるために、立石の歴史・文化の資料の保存を計画的に進めるとともに、区のみでなく民間団体が保存収集した資料も含め、展示などの検討を求める。

**教育次長** 当該地域の資料の収集や展示は、特徴ある街並みの記憶を次の世代に伝えるための有効な手段である。立石地域ゆかりの資料の保存やその展示など、歴史や文化の継承につながる方法を、関係部署や団体などと連携しながら検討する。

**かわごえ** 再開発で児童増が予想されるが、本田小学校の改築事業はどう進めていくのか。また、本田小学校以外の周辺の小学校の普通教室の不足や、校舎の老朽化なども見込まれるが地域に丁寧に説明を。

**教育次長** 本田小学校は敷地が狭く改築には大型重機の搬入路の確保など、課題が見込まれる。令和7年度は庁内で改築手法の検討を進め、令和8年度前半に学校関係者や地域代表者で組織する改築懇談会を設置し、基本構想・基本計画の策定を進める。本田小以外の周辺の小学校については教室の転用、校舎の増築、通学区域の見直しなどの対応策を検討し、対応が困難と見込まれる場合には学校改築を検討する。

**かわごえ** 現在の区役所のバス停や立石駅への路線など、地域状況を検証し、早めに方向性を示す必要があるがどうか。

**交通政策担当部長** 現区役所のバス停は、区役所利用者のほか周辺住民の最寄りバス停として使用されており、再編にあたり地域の状況について検証する必要がある。一方、路線バスは目的地までの速達性も重要な要素であり、現庁舎敷地の活用見込みや利用者数の想定など踏まえ、早い段階で方向性が示せるようにバス事業者と協議する。  
【その他】立石周辺の公共施設の検討状況についてなど

### 2：多文化共生について

◆近年、増加傾向にある外国ルーツの子どもの支援の課題などを質問

**かわごえ** 昨年11月に葛飾区の人口が47万人を超えたとされるが、日本人が56人増に対し、外国人が2,302人の増加とされ、人口増のほとんどを外国人が占めている。区として課題分析し方向性を示すべき。

**区長** 区の人口に占める外国人人口の割合は、6%を超える状況だ。少子高齢化に伴う労働力、企業の人手不足に起因し、外国人労働者などの受け入れ拡大政策により、外国人居住者が増加しているものと認識している。実態把握を行い、課題の分析をし、方向性を示す。

**かわごえ** 支援者や関係機関が外国人住民の課題共有のための情報交換の場や、支援機関などと連携するネットワークなどが必要だ。

**地域振興部長** 地域で活動するボランティアやNPO団体とコミュニケーションを密にし、活動を継続するために必要な場の確保や情報発信などの支援策の充実を検討する。

**かわごえ** 昨年、新小岩地域に「にほんごステップアップ教室」が増設されたことは評価するが、一方でまだ地理的や保護者の状況などで通えない子どもがいることが課題だ。また、日本語学級は入級待ちの状況も出ており、学級増や受け入れ定数の増などの検討をすべきだ。

**教育長** 新たな「にほんごステップアップ教室」の開室の必要性について、地理的な状況も踏まえ検討を進める。日本語学級は、年度途中で増やすことができないため、入級までに時間がかかっている。今後は日本語指導の必要な児童・生徒の増加に対応できるよう、東京都に要望し、区でも対応策を検討する。

**かわごえ** 学校での外国人保護者が学校からの文書を読めないなど課題がある。ICTを活用した情報提供の多言語化に取り組むことが必要だ。合わせて教育委員会がそのためのマニュアルなどを示すべきだ。

**学校教育担当部長** 校務事務での生成AIの導入を進める。その活用

ご意見・ご要望をお寄せ下さい。かわごえ誠一 web → <https://www.kawagoeseiichi.com>

問合せ  
連絡先

かつしか区民連合

〒124-0012 葛飾区立石 5-13-1 葛飾区議会内

電話 03-3695-1111 (代)

FAX 03-3697-0137

かわごえ誠一連絡先・問合せ先

〒124-0012 葛飾区立石 8-47-18

携帯電話 090-2932-7315

e-mail [info@kawagoeseiichi.com](mailto:info@kawagoeseiichi.com)

